
デスキャッチャー

零光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

デスクヤツチャー

【Nコード】

N2287B

【作者名】

零光

【あらすじ】

人気の無いゲームセンターことゲーセンで一つだけあった骸骨の人形。興味本位で取った男子高校生はどうなるのか

都内のゲームセンターの陰に隠れて目立たないゲームセンターがある。

そこには色々な噂が流れては、デマだと言われ流されてきた。

そんな事を確かめるかのように男子高校生数人がそこを訪れた。

そのゲーセンは本当に少しのゲームとUFOキャッチャーが一台しかなかった。

「こんなんでよく営業出来るよなあ。」

男子高校生の一人がそう言うのと店内をぐるぐる回っていた。

どうやら店員も一人もいなかった。

「どれも何年か前の古いゲームだぜ？」

だがその中に高校生の興味を引くものがあつた。

「この人形凄くね？」

そのUFOキャッチャーの景品のぬいぐるみの骸骨がいこつが一つだけあつた。

いかにも作られたような骸骨のぬいぐるみは気味の悪さを放っていた。

生徒の大半は”何じゃそりゃ”とか”作った奴誰だよ”とか言っていたがそのうちの一人が

「俺ネタになりそうだしやってみるわ。」

と言って硬貨を入れた。

結局2回やってその骸骨がいこつのぬいぐるみを手に入れた高校生は家に着くとそのぬいぐるみをベッドにポンッと放った。

「明日女子の机の上にも置いてみるか。」

良からぬ事を企んだ男子だったが次の日は英単語テストだったために少しの一夜漬けの後に寝てしまった。

ぬいぐるみを机に置いて。

だが翌日には前触れも無くこの高校生が死体として発見されたのだ。原因は心臓圧迫。

何者かに生気を吸い取られたような顔だった。

そしてぬいぐるみは机の上にも部屋のどこにも無かった。

その後そのゲーセンのUFOキャッチャーには再び同じ骸骨のぬいぐるみがあったらしい。

（後書き）

注意点や感想などありましたらご指摘ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2287b/>

デスクキャチャー

2010年10月8日21時17分発行